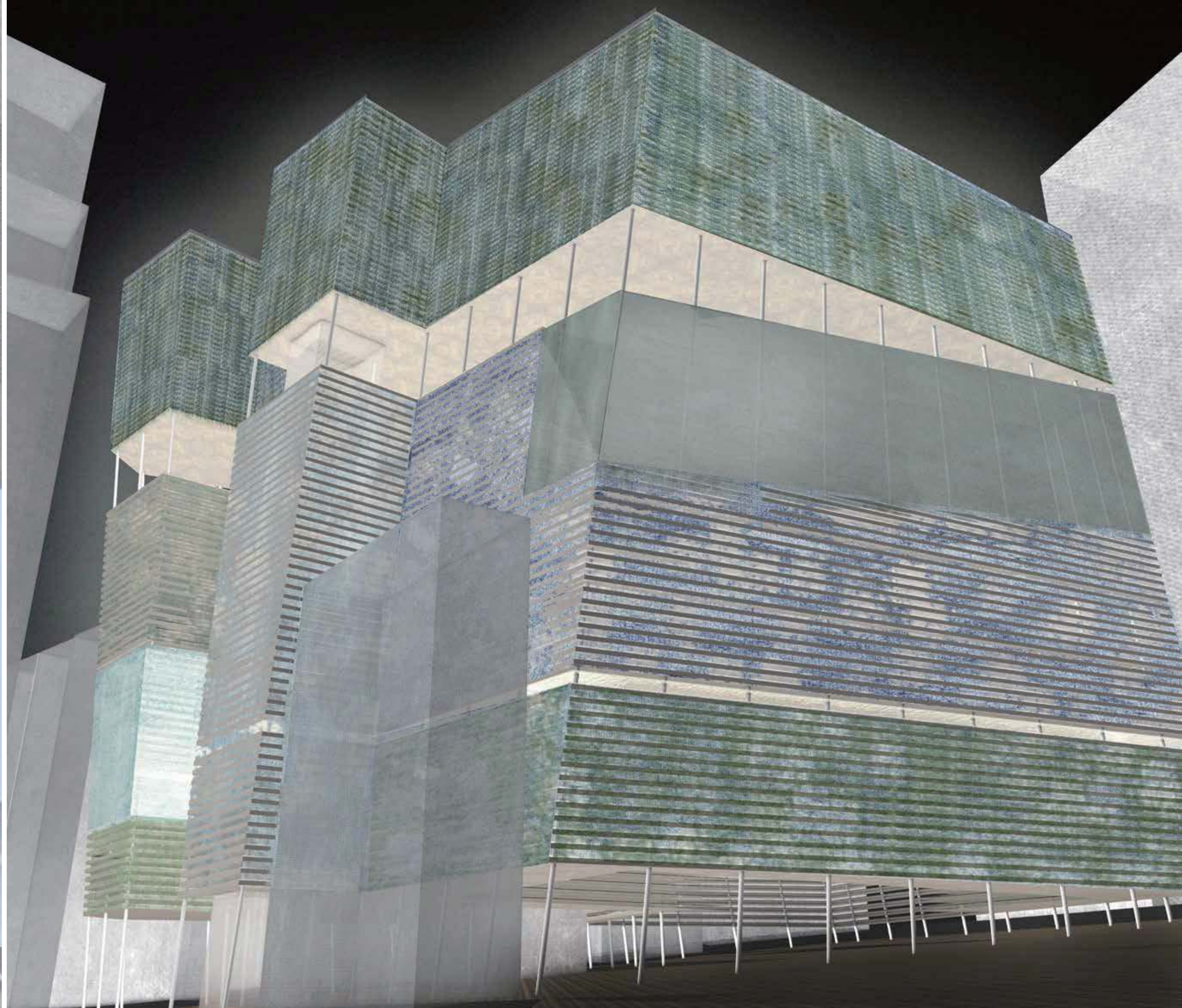
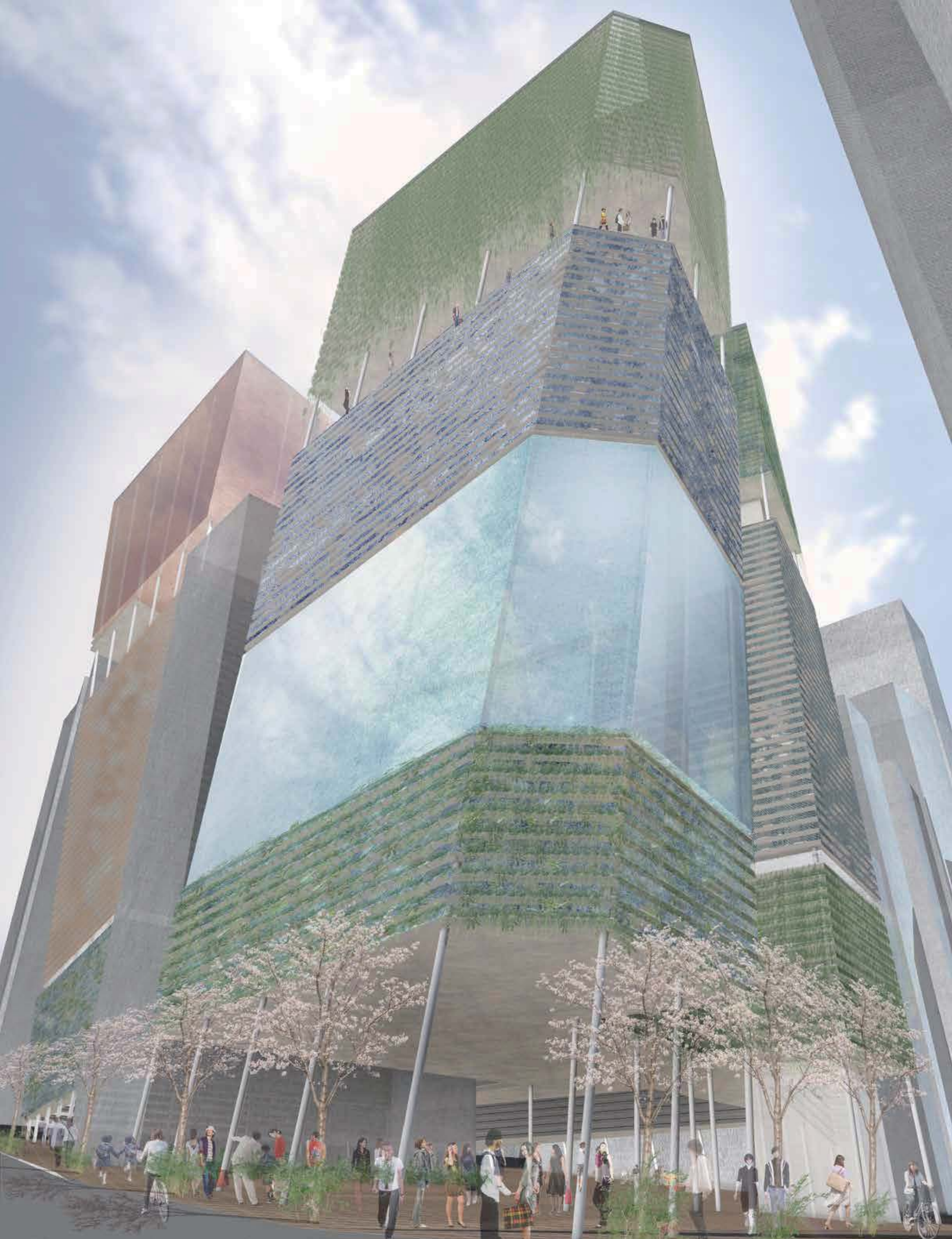




渋谷の 渋谷による 渋谷のための 建築

Architecture of the Shibuya, by the Shibuya, for the Shibuya

1. 渋谷の

渋谷の在り方

渋谷の特徴は『渋谷とは「〇〇な街だ」とは決して一言で言いきれないということ』である。
10年後、20年後さらにその先の渋谷はどうなっているのだろう。

スタートアップ機能

定住する為の場所ではなく、『仕事の間』『学びの間』『遊びの間』『活動の間』としての魅力に溢れている渋谷。住居と仕事場の間の一日をスタートする場としての渋谷を創り出す。

2. 渋谷による

渋谷の土着的建築

渋谷の地下に流れる渋谷川。小学校でよく歌われる「春の小川」は、大正時代、渋谷でまだ、目の下で流れていた。渋谷川の支流を歌ったものであり、この鉄分を多く含んだ水の色が淡色である事が、渋谷という語源ともなっている。

地下水の顕在化

かつては地上に流れていて、渋谷の街をつくり、道をつくり、今の渋谷をつくった渋谷川であるが、今は暗渠の下に隠れている。この地下水を顕在化する事で、壁面によって浄化し、大都市の中の親水空間として利用することで、新しい渋谷をまたもう一度、この渋谷川によって創り出す。

3. 渋谷のための

都市間競争

これまで、東京は日本の、アジアのそして、世界の経済を牽引してきた。しかし、近い将来、アジアの新興国がその役割を担えるようになるだろう。経済の肥大化によって、東京の都市空間は疲弊してしまつた東京、渋谷を新しいライフスタイルを実現する場所としての『都市空間』を創り出す。

渋谷に新しい機能を付加する

東京は世界の中でどう生き残って行くか、東京の都市は今まで経済成長を目指して肥大化してきた。この肥大化し、疲弊している。この競争を終わらせ、都市間の共生、共栄を目指し、それぞれがライフスタイルを満喫する為の都市空間を創り出す。職場と住居の間に、新しい機能をもった場所を挿入し、新しいライフスタイルを実現する場としての渋谷を実現する。



1. プログラム

オープンスペースの在り方

渋谷周辺には、代々木公園や明治神宮などの大規模なオープンスペースや、小規模なオープンスペースがある。それらを渋谷独特の街路構造を利用して、ネットワーク化する。そのオープンスペースの拠点としてこの場所を利用する。

放射状街路・迷路性街路 → ネットワーク化 → 回遊性街路

サイクリングやジョギングなどのコースとして利用する。

新しいライフスタイルの提案

現在 職場 ⇐ 住居

将来 職場 ⇐ **サードプレイス** ⇐ 住居

朝活を行う為の、職場と住居の間の空間。
これを生活の中を組み込むことで、渋谷に新たな機能を加える。これは東京のターミナルである渋谷でしか実現されない。

都市空間に対して

新しいライフスタイルを実現する舞台、『都市空間』。
その都市空間に今までの生活の一部がにじみ出し、新たなライフスタイルを創り出す。

住居 → 生活 → サードプレイス → 仕事

2. 街路分析

渋谷の街路形状

1. 放射状街路

2. 回遊性街路

3. 迷路性街路

2. 構成ダイアグラム

ねじりながら積まれたスラブ

水流ポンプ搭載柱

3つの貯水槽

3. 光

LIGHT_PATTERN 1

LIGHT_PATTERN 2

NIGHT_PATTERN

日光が植物を通過して、水面、鏡面に反射し、拡散する事で、落ち着いた自然光を取り込む。

日光が鏡面に反射し、それがガラス、水面に反射し、室内からの光が鏡面と水面に反射し、揺らいでいるような夜景を創り出す。

4. 流水

1 第1水槽

2 第1浄化 (第1水槽→第2水槽)

3 第2水槽

4 第2浄化 (第2水槽→第3水槽)

5 第3水槽

6 都市の親水空間として利用

1/500 展開立面